

# VOICE

Volunteers Of International Communication & Exchange



VOL.63

発行日 2016年3月30日  
発行 熊本県国際協会  
〒862-8570  
熊本市中央区水前寺6丁目18-1  
熊本県国際課内  
TEL 096-385-4488  
FAX 096-277-7005  
E-mail kuma-koku@cup.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.kuma-koku.jp/

## 1 国際協会活動報告

- 第22回熊本国際交流祭典
- 肥後っ子わくわく地球教室 in 山鹿市立米野岳小学校

## 2 人物・会員団体紹介

- 田代 クリスティーナさん
- (一社) 熊本県テコンドー協会

## 3 トピックス

- 留学生との楽しい交流 —— NPO 法人 熊本インドネシア友好協会
- 中国広西壮族自治区北海市との交流 —— 八代市
- 大津町と米国ヘイスティングズ市が姉妹提携20周年を祝う —— 大津町国際交流協会
- 芦北ひまわり第5学校の贈呈 —— 芦北町国際交流協会
- 外国人も参加した熊本市災害医療福祉訓練 —— 国立病院機構熊本医療センター
- 熊本の留学生たち —— 熊本大学

## 4 お知らせ

- 新規入会団体の紹介

## 5 会員団体行事予定



第22回熊本国際交流祭典のくまモンステージ

## ◆「第22回熊本国際交流祭典」を開催しました！

2015年11月7日（土）、熊本市東区の健軍商店街で「第22回熊本国際交流祭典」を開催しました。当日は曇り空からのスタートでしたが、次第に空も明るくなり、たいへん多くの方々にご来場いただきました。健軍商店街での開催も今年で4年連続となり、商店街の秋のイベントとして定着してきています。

ステージでは、ハワイアンソングライブやインドネシアのふるさとの歌、太鼓の演奏などが披露されるとともに、サンバ隊の皆さんが会場全体を行進し、国際色豊かな雰囲気にもまれ、くまモンも登場し、参加者と一緒に会場を大いに盛り上げてくれました。また、在住外国人や留学生の方々と、世界民族衣装を身にまとった参加者が、輪になって花笠音頭を楽しく踊る場面では、国際交流を肌で感じることができ、とても印象的でした。韓国の正月遊びや英語クイズ大会などの交流イベントや、煎茶体験、着物着付け体験、世界のグルメ、パネル展示、バザー、スタンプラリーなどのイベントを通じ、来場の皆さんに会員団体の日頃の活動を知っていただくとともに、海外の様々な文化に触れていただくことができました。



会場全体の様子



オープニングステージのサンバ



華やかな着物姿でステージへ



パネル展示コーナーの様子



異文化体験コーナー

## ◆「肥後っ子わくわく地球教室」を開催しました！

2016年2月5日に山鹿市立米野岳小学校で肥後っ子わくわく地球教室を行いました。アメリカ人講師2名とブラジル人講師1名が訪問し、子どもたちに自国の紹介をしました。子どもたちからは「学校の給食は何か出るの?」「流行っている遊びは?」等々、質問が寄せられました。子どもたちは、日本との同じ点や違いに驚きながら、他国を知り、関心を持つ良い機会となりました。



2年生クラスの様子  
講師：ローランドさん（アメリカ出身）

## ◆ 田代 クリスティーナさん

—— 日本に来られたきっかけを教えてください。

小さい頃から、日本の文化に興味がありました。ローマ経由で初めて日本へ行きましたが、友人の紹介で当時ローマ在住の現在の夫と知り合い、国際結婚に至りました。

—— 外国生活が長いようですが、今までどこに住まれましたか？

故郷はアルゼンチンです。結婚後、イタリア→デンマーク→東京→大阪→メキシコと移り、熊本に住み始めて約30年になります。

—— 外国で生活する際に心がけるべきことは？

その国の悪い所を気にしては生活できません。良い点だけを見て生活していくことが大切だと思います。

—— 外国人妻の会ができたきっかけを教えてください？

熊本に住み始めてすぐ、ある外国人妻の方と「お茶を飲みましょう」ということから始まりました。その後、生活のことや育児のことやゴミの出し方などについて皆で情報交換してサポートするような会として活動を始めました。

—— 現在の活動状況と活動されている中で感じていることは？

それぞれが自分の出身国の文化を紹介することと、日本でより暮らしやすくするために法律の勉強会などもやっています。お茶の作法など、日本の文化をボランティアで紹介していただく方がいらっしゃればと思っています。



## ◆ プロフィール ◆

アルゼンチン出身、熊本市在住  
「熊本外国人妻と日本人妻の会」  
代表

## ◆ (一社) 熊本県テコンドー協会

熊本県テコンドー協会は、現会長である樋口悦夫会長が1985年4月に設立し、全国組織への加盟が九州地区で初めて認められた団体です。設立当初は阿蘇や熊本市で十数名の道場生からの出発でしたが、その後、県内各地へ普及を進め、現在、15の道場、3大学及び1高校のクラブで約300名が活動しています。

テコンドーは、世界200か国に普及しているオリンピック競技ですが、本協会は過去に、シドニー五輪や世界選手権の日本代表選手を輩出した強豪団体として知られています。また、国際大会の開催や、テコンドー留学を通じた韓国との交流を盛んに行っているのが特徴です。さらに、競技のみのテコンドーでなく、演武やダンスなどを取り入れながら、生涯スポーツとしての普及にも力を入れています。

本協会では、県選手権大会、県学生大会、県ジュニア大会をはじめ、2007年からは県外選手を招いて「くまもと阿蘇オープン大会」を開催しています。また、海外選手を招いての国際大会は1995年から7回実施しており、2006年の国際大会には9か国が参加し、テレビでも1時間番組として放送されました。

優秀な競技者を輩出することも重要ですが、テコンドーを通じての人づくりも大きな目標です。国際大会を通して、国際親善交流の推進も行っていきたいと思っています。



国際親善・第6回くまもと阿蘇オープン選手権大会の様子

## ◆「留学生との楽しい交流」——熊本インドネシア友好協会（KIFA）

KIFA は日頃から留学生との交流の場を積極的に作っています。2015年10月4日、熊本大学留学生の新入生歓迎会にご招待頂きました。先輩留学生から日本とはどんな国なのか、熊本での暮らし、言葉や文化、食についてアドバイスをされていました。また、イスラム教徒が多いインドネシア留学生に対して食品食材の購入場所や交通手段など丁寧にアドバイスしてらっしゃいました。ホームシックになっている新入生もいましたが、皆で作ったインドネシア料理を食べ、安堵の表情を浮かべていました。



KIFA 音楽広場 2015 のステージ

今年度は、11月7日熊本国際交流祭典ステージ部門での初参加。11月15日の「KIFA 音楽広場 2015」では、箏とフルートで日本の曲の発表、民族楽器アングロンと共にインドネシアに伝わるふるさとの歌の演奏。1月17日ちきゅう音楽広場の参加等々。留学生の音楽ステージが多い年でもありました。熱心に練習に取り組む姿に私たちも心打たれるものがあり、どれもとても良いステージとなり、聴きに来て下さったお客様も大変喜ばれました。また「KIFA 音楽広場 2015」では、KIFA 塾「インドネシアにおける環境活動の取り組み」について講演し、インドネシアの手作り民芸品のバザーでは、多くの方に見て頂くよい機会となりました。

KIFA としてはこれからも県内の国際交流などに積極的に参加し、熊本をさらに知ってもらう機会を作っていく、留学が有意義なものとなるよう、サポートをしながら互いに良き関係となり、熊本への留学が良き思い出となる事を願っています。

熊本インドネシア友好協会 理事 吉永洋子

## ◆ 中国広西壮族自治区北海市との交流 —— 八代市

八代市は2015年8月1日に合併10周年記念式典を開催し、北海市からもご来賓として出席いただきました。当日の夜には「くま川祭り」にも参加され、翌日からは、市内学校施設の視察や教育関係者との懇談を行い、交流を深めました。

12月には八代市から青少年文化交流派遣団15名が北海市の高校を訪れ、着物や茶道等の日本文化を紹介し、また逆に中国の茶道や伝統工芸を体験しました。特に、双方の民族衣装の紹介は、約1,000人の生徒の前でファッションショー形式により行い、日中お互いの文化について理解を深めることができました。



12月11日ファッションショー終了後の集合写真

来年度は友好都市締結20周年を迎えます。今後も八代市・北海市両市民の交流を継続的に行っていく予定です。

八代市総務部 秘書課

## ◆ 大津町と米国ヘイスティングズ市が姉妹提携 20 周年を祝う — 大津町国際交流協会

～共に未来へ Into the future together～

大津町と米国ネブラスカ州ヘイスティングズ市が 2015 年 7 月で姉妹都市提携 20 周年を迎えました。町から徳永副町長ら 5 人の公式訪問団、ホームステイ派遣プログラムで参加した町内の中高生、自費で参加した町国際交流協会会員と日本庭園管理のボランティアなど総勢 35 人が同市を訪問しました。

訪問団は全員が同市内にホームステイしながら様々な交流プログラムに参加、7 月 22 日に行われた記念式典には関係者など約 150 人が出席して盛大に行われました。式典では、徳永副町長とバーン・パワーズ市長による姉妹都市提携の継続宣言書への署名や、記念品の交換、感謝状の贈呈などのセレモニーやアトラクションがあり、お互いの友好関係をあらためて深めました。

同市とは、1995 年の姉妹都市提携以来相互交流が続いており、この 20 年間で大津町からは延べ約 340 人が同市を訪問し、同市からも延べ約 220 人が大津町を訪れています。

大津町国際交流協会（大津町役場総合政策課）



同市を訪問した大津町の訪問団  
(ヘイスティングズ大学にて撮影)

## ◆ 芦北ひまわり第5学校の贈呈 — 芦北町国際交流協会

皆さんはカンボジアという国をご存知でしょうか。

アンコールワットという有名な世界遺産がある東南アジアの国ですが、約 30 年前のクメール・ルージュの支配により、多くの知識人を含む 120 万～230 万人が殺害されたといわれており、人々への教育が重要課題になっています。

芦北町国際交流協会では、同国に対して 1996 年から学校を贈る運動を続けており、町内の児童・生徒や住民など多くの人々からの募金を頂きながら、これまで 4 校の学校贈呈を行ってきました。

そして、2015 年 12 月に待望の 5 校目を贈呈することができ、贈呈式に小中高生を含めた派遣団が参加しました。首都プノンペンから 4 時間ほど離れたクナーチチュン村に、今回贈った校舎があります。以前は小学 4 年生までしか通えず、粗末な造りに雨風も入るうえ、机・椅子などの備品もなく、自分たちで持参して勉強するような状況でした。今回の贈呈により、6 年生まで通えるようになり、机や椅子などの備品も揃え、子どもたちが安心して勉強できる環境を整えることができました。

贈呈式当日、集まった村人たち約 500 人からの歓迎を受け、地元の子どもたちと折り紙や竹とんぼなどで交流しました。また、芦北町在住で仮面ライダー SPIRITS の作者、漫画家の村枝賢一さんも同行され、学校の壁に絵を描くなどのサプライズが行われました。

参加した子どもたちもカンボジアという国を見て、地元の方々と交流したことで様々な思いを抱いたようで、派遣前より成長して帰って来ました。

芦北町国際交流協会では、今後も支援を続けていきます。



建て替え前の校舎



新しい校舎



交流会にて

## ◆ 外国人も参加した熊本市災害医療福祉訓練 — 国立病院機構熊本医療センター

日本政府観光局によれば、2015年の外国人来客数は前年比47.1%増の19,737,000人で、これまで過去最高だった2014年の13,413,000人を600万人余り上回りました。このように、2019年のラグビーワールドカップ開催、続く2020年の東京オリンピック開催に向けて、日本の国際化は、さらに急速に進むと思われますが、熊本の医療体制は充分に対応できているのでしょうか。

そのような中、我々は熊本市国際交流振興事業団の協力を得て、2015年10月24日に行われた熊本市災害医療福祉訓練に、外国人と通訳ボランティアにも参加していただきました（写真1）。この訓練は熊本地方を震源とするM7.2、震度6弱の地震が発生し、熊本市内の道路・橋梁等の一部が通行不可、電話も一部不通となり、当院ではエレベーターも、CTやMRIなどの画像機器も使用できないという状態を想定したものです。

外国人3名に患者役になっていただき、看護学生によるメークがほどこされました（写真2）。そして、救急車で搬送され（写真3）、あるいは災害用テント内にある外来を受診し（写真4）、医療担当者に症状を訴えてもらいました。



写真1：河野文夫院長の挨拶



写真2：看護学校での準備



写真3：救急車から降ろされ、通訳ボランティアと病院内へ



写真4：災害時外来テント内で診察を受ける

政府観光局の推計値によると、2015年上期（1～6月）の県内外国人宿泊者数は前年同期比48.1%増の35万1千人となりましたが、その一方で言語対応やWi-Fi整備などの遅れを指摘する声があります（くまもと経済H27.12）。そして実際に当院を受診する患者数も昨年に比べて倍増し、医療側の負担（特にコミュニケーションによるストレス）も増加しています。医療通訳者の育成、そしてまだ熊本には一人もいない医療コーディネーターの確保が急務となっています。

## ◆ 熊本の留学生たち — 熊本大学

— 熊本大学では、2016年2月1日現在47カ国・地域から531名の留学生が様々な分野の勉強をしています。



**劉 天航 (リウテンコウ) さん (26)**

中国、工学部／物質生命化学科

熊本に住むのはもうすぐ4年間になります。生活費を稼ぎながら学校に通っています。学校でもアルバイト先でもたくさんの友達と出会い、楽しい毎日を過ごしています。休みの日は友達と一緒に熊本城へ散歩したり、グリーンランドや天草などへ遊びに行ったりしています。熊本の馬寿司と馬肉の焼肉が大好きですが、高いので、しょっちゅうは行けません。自然豊かな熊本が大好きになっています。

水泳が大好きです。よく家でドラマと映画鑑賞しています。最近ピアノを始めたばかりです。自然が豊かなところへ旅行しに行くのは好きです。

将来は研究職もしくは教育職につきたいと考えています。



**Kurnia Erfan (クニアアルファン) さん (20)**

インドネシア、薬学部／創薬生命薬学科

熊本って、あまり都市と感じてないから、僕にとっていいところです。毎日何度か電車やバスがあるから田舎とも全然感じてないです。熊本市以外のところが田舎で安心します。趣味や特技については、読書より、情報集めが好きです。

将来の夢については、自分の目で世界を見ること、自分の企業を立ち上げることです。



**Burcu Soysal (ブルジュソイサル) さん (22)**

トルコ、文学部

日本の文化や食べ物にだんだん慣れてきて、今まで全然問題はありませんでした。熊本で美味しい日本料理を食べられるいくつかの店があって、授業の後に友達と一緒に行って、食べながらおしゃべりをしています。趣味は音楽を聞きながらジョギングすることと色々な外国語を学ぶことです。

将来、大学を卒業してから大学院に進学して、社会学博士の学位を持って、大学教授になりたいです。



**Piruzyan Mariam Armen (ピルヂャンマリム) さん (25)**

アルメニア共和国、薬学部／遺伝子機能応用学研究室

日本に来て最初驚いたこと山ほどあります。しかし、日本で生活しているのはもう結構長くて、最初驚いたこと今普通のように思っています。例えば、挨拶の時に「お疲れ様です」を使う習慣とお辞儀です。自分の中で「まだ疲れてないですけど...」と疑問に思っていました。しかし、今私の日常生活の欠かせない言葉になっています。あと、面白いことにお辞儀に慣れすぎて帰国した時も無意識にお辞儀してしまいます。それ以外に驚いた中で生もの(寿司、さしみ、馬刺し)を食べる習慣や上下関係などがあります。

外国語を勉強しているのと旅行するのを楽しんでいます。また、いつか本を書けるように面白い出来事や写真などのメモ取るのが好きです。

将来どのような職業するにしてもやれること全てやって、人の役に立つ人間になりたいです。



# お知らせ

## ◆ 新規入会団体の紹介 — 熊本日米協会

当協会は1961年(昭和36年)に「日米両国民の親睦と理解を図り、文化交流に寄与する」ことを目的に設立され、今年で55周年を迎えました。これまで駐日アメリカ大使や同福岡領事館首席領事の歓迎会や講演会の開催や米国からの留学生との新年交流パーティーなどの活動を行ってきました。今年の新年交流会には前駐米大使藤崎一郎全国日米協会連合会会長を迎え開催しました。また、若い世代へのアプローチとして2014年からは海外雄飛を目指す高校生や大学生を対象に「インスパイア・ユースプログラム」と題して米国留学や海外でのビジネス経験のある会員による講演会やワークショップさらに2015年からは、県内の高校、大学に出向く出前講座も開催しています。

当協会は、法人会員、個人会員の募集を随時行っております。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。



2016年 新年交流会にて

■連絡先 〒860-8565 熊本市中央区城東町4-2  
熊本ホテルキャッスル内 熊本日米協会事務局 096-326-3311



# 会員団体行事予定

(2016年4月～2017年3月)

事業名	開催日時・場所	事業内容	主催・連絡先
国際交流 松居直美パイプオルガンコンサート	2016年6月5日(日) 14:00～ 熊本白川教会 熊本市中央区九品寺 2-2-24	世界的オルガニスト松居先生のパイプオルガン演奏を熊本在住の諸外国の方々と共に楽しみましょう。	王栄国際交流委員会 粟津 安和 096-363-4315 <a href="http://sirakawakyokai.com/">http://sirakawakyokai.com/</a>
国際交流バザー	2016年10月29日(土) 10:00～ 熊本白川教会 熊本市中央区九品寺 2-2-24	国際交流の一環として、たくさんのお品物、衣類の販売。また、お食事コーナーもあります。(大正4年より続けられたバザーです)	
第2回KIFA塾	2016年10月予定 ホテルニューオータニ熊本 熊本市西区春日 1-13-1	インドネシアについてあらゆる角度から講師を招き勉強します。	NPO法人 熊本インドネシア友好協会 玉城 直 090-7159-3888
KIFA広場 2016	2016年11月中旬 熊本市内予定	これまで「音楽広場」として開催していたインドネシアの音楽演奏に加えインドネシアの研究発表を行います。	NPO法人 熊本インドネシア友好協会 吉永洋子 090-7450-9479

## 広報誌「VOICE」の編集委員

上村勝代(熊本市北部国際青年交流会)、清田忠臣(熊本県日中友好協会)、神保勝己((公財)熊本YMCA)、杉光定則(熊本日伯協会)、寺本祐司(崇城大学)、藤門豊明(熊本アイルランド協会)、藤井一郎(東海大学)、松川勝一郎((一社)熊本青年会議所)、毛利秀士(熊本むくげの会)、協会事務局